

高松市立屋島東小学校 体力向上プラン

【学校教育目標】

豊かな心を持ち、自ら学ぶ意欲と
実践力に富む、たくましい子どもを育てる

【本校の課題】

- 全体的に県・全国平均を下回っているが、特に、県・全国平均の値を下回っている女子児童が過半数を超えている。
- 男女とも、多くの学年で反復横跳び・20mシャトルランの値が低く、県・全国平均を下回っている。

【現状】

休み時間には元気よく運動場で遊んでいる姿が見られるが、昼休みなどは給食の片づけ等があり、運動場で十分な時間遊ぶことができていない児童もいる。特に、高学年になると外で遊ぶ姿があまり見られなくなっている。また、多くの子どもたちがボールを使った遊びが中心で、握力を生かす遊具などで遊ぶ姿や持久力を発揮する運動に継続して取り組もうとする姿はあまり見られない。そして、全体的には、本校においても運動をする児童・しない児童の二極化がみられる。

体育の授業においては、単学級のため、他の学級の児童たちとの競い合うクラスマッチなどの取り組みを行うことができない。そのため、プールやなわとび、持久走では、毎年同じ仲間との競い合っているため十分な意欲がもてていないのも現状である。

【取組み】

金曜日を東っ子タイムに

体を動かすことが楽しいと思うように金曜日を「東っ子タイム」と設定し、縦割り班で体を動かす時間を設定したり、体育委員会中心で持久力や基礎体力を高めたりする活動を確保する。同時に、遊具を生かした運動も取り入れる。

なわとび大会の実施

体育の授業や全校での活動時間を利用し、楽しみながらなわとびに取り組むことで体力の向上につなげる。さらに、意欲向上に向けて各種目の上位の児童を表彰する。また、ジャンピングボード等の設置を行い、環境整備の充実も図る。

持久走大会の実施

寒い時期に外での活動を増やし、体力、特に持久力の向上のために、持久走を行う。ワークシートを用いて走った周回分チェックが入れられるようにしたり、上位の児童の表彰したりし、意欲付けを行う。朝の活動や業間、体育の時間も活用し、持久力の底上げをしている。

体育指導技術の向上

文部科学省から配布された「手引き」などの資料を活用し、学年に応じた運動が有意義に行えるようにする。また、体育主任が若年の先生を対象に実技研修を行い、児童のつまずきに応じた体育の指導方法などを共有している。各学年で児童の実態に合った指導ができるようにしている。

【目標】

- 持久走大会やなわとび大会では、前回の記録を上回るように系統性をもって活動する。
- 反復横跳びや20mシャトルランの記録が、県や全国に近づけられるような活動を設定する。